

大阪Reportレポート



長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol. 10 (2023. 3. 2)

長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

関西の今＜トピックス＞

- <2025年大阪・関西万博> 「空飛ぶクルマ」実現に向けて <https://www.expo2025.or.jp/>
 - ・万博での商用運航の実現を目指す「空飛ぶクルマ」の運営事業者に5社*が決定。
 - *「ANAホールディングス」「日本航空」「スカイドライブ」「丸紅」「ジョビー・アビエーション(米)」
 - ・大阪府・市がMICE誘致戦略を公表。万博波及効果などを活用して、2032年までに国際会議件数で、世界10位以内を目指す目標を掲げた。
- <観光> 訪日客回復鮮明、一方で人手不足が深刻化
 - ・1月の訪日客が149.7万人と2か月連続で100万人を超え回復基調が鮮明に。今月からは中国を対象とした水際対策緩和でさらに増加が見込まれる一方で、宿泊業を中心に人手不足が深刻化。
 - ・インバウンドや万博の需要を見据えて、アパホテルグループが、大阪梅田に西日本最大級34階1,700室(収容人数3,488人)のホテルを開業、来年秋には、大阪ミナミの中心・難波に40階2,000室規模のホテルの開業を予定。
- <産業> 万博に向けて関西経済界が結束、大阪駅再開発も進行
 - ・関西経済3団体トップ*の顔ぶれが固まる。万博に向けて経済界が一丸に。関経連と同友会は「関西財界セミナー」を3年ぶりに対面開催、企業経営者ら500人が参加。万博を日本の成長基盤の底上げの好機とするなどの声明を発表。
 - * 関西経済連合会: 松本正義 会長(住友電工会長)、大阪商工会議所: 鳥居信吾 会頭(サントリーHD副会長)
関西同友会: 宮部義幸 代表幹事(パナソニックHD副社長)
 - ・三菱地所やオリックス不動産などの開発事業者9社が手掛ける大阪駅北側再開発区域「うめきた2期」の計画名称が「グラングリーン大阪」*に決定。みどりとイノベーションの融合を目指す。
 - *9haの広大な敷地に、複数的高级ホテルやオフィス、商業施設、都市公園などを整備、来年先行街開きを予定。今月中旬にはJR西日本が同エリア地下に新駅を開業。

大阪での取り組みの今

最近のトピックスを紹介

- 「神戸空港開港17周年記念イベント」(2/18-19: 神戸ハーバーランド umie)
⇒信州まつもと空港との直行便が就航している神戸空港の開港17周年を記念したイベントに出展、FDA神戸松本便や信州の観光物産をPR、ステージイベントにはアルクマが登場、切れのあるダンスパフォーマンスで子供たちを魅了、信州の花アルストロメリアの配付PRも実施。



●「大阪観光局連携イベント」（2/20-22：JR大阪駅・JR新大阪駅・南海電鉄なんば駅）

⇒連携協定を結んでいる大阪観光局と連携して、訪日外国人観光客のゲートウェイとなる大阪の主要駅構内にある観光案内所で、国内外の観光客に向けて「信州への旅行モデルプラン」や「スノーリゾート」の紹介など信州の魅力をPR。各駅にアルクマが出没、大阪駅では県内で生産が盛んな生花を幅広く紹介するため、アルストロメリア200本をプレゼント。



●「事務所のディスプレイに松川町が登場！販売イベントも実施」

（2/17:大阪駅前第1ビル地下2階 / 2/17-18:天神橋筋二丁目商店街）

⇒ディスプレイでは「くだもの百年」と題して、りんごや梨などの果物収穫カレンダーや「ピンクレディー®」やシールドを展示、また、人気の商店街等では、農家や生産者の皆さんが販売イベントを実施



●「異業種交流会にモンベル辰野会長が登場！」（2/8:リーガロイヤルホテル）

⇒毎日新聞大阪本社主催の異業種交流会の講師にモンベル創業者の辰野勇会長が登場、スイスアルプスのアイガー北壁を世界最年少で登攀、以来、登山に関わる仕事をしたいと28歳で起業、「失敗という概念を持たない」「正面からやってくるチャンスの女神を逃さない」など、ビジネスの持論を教示。



●「信州上高地あずさ珈琲1周年に併せて・風さやか/信州割のPRキャンペーンを実施」（2/28：ららぽーと甲子園店）

⇒上高地あずさ珈琲 関西14店舗の店内メニューで提供される全てのお米が、長野県が育成したオリジナル米「風さやか」に順次切り替わります。1周年を迎える「ららぽーと甲子園・信州上高地あずさ珈琲」で、風さやかと春休みの信州への旅をPR、信州割が印刷された「風さやか2合パック」を観光パンフとともに100名にプレゼント。2/21からは全店で長野市産いちごを使用したデザートメニューを提供する「信州デザートフェア」を開催中。



